

寸劇「マルチ商法」台本 （作・演出 平賀 美津江）

<就職活動をしているカモ太君に ある日、高校の同級生だったかぶり君から電話がかかってきました。>

カモ田君 （携帯を取って）「もしもし」

かぶり君 「久しぶり～ かぶりだけど 元気してた？」

カモ太君 「かぶり君かあ？ 懐かしいな 今、就活してるんだけど なかなかいい仕事なくて」

かぶり君 「そっかあ じゃあ ちょうどいいな。 オレ 小さい会社だけど 良さげな仕事見つけてサ。 今日説明会が近くであるからカモ太も一緒に行ってみない？」

<懐かしさもあって カモ太君は かぶり君と 説明会場に行くことにしました。久しぶりに会ったかぶり君は、ピシッとスーツを着て輝いて見えました。会場はとても豪華で、たくさんの人で賑わっています>

かぶり君 「この商品 環境にもやさしいし、これからブレイク間違いないんだ！ オレ、登録会員として この商品のすばらしさを広める仕事をしてるんだ」

カモ太君 「なんか かぶり君カッコいいよなー」

かぶり君 「しかも このすばらしさに共感する同志をどんどん集めるだけでお金が入ってくるから 口座見てビックリしちゃうよー」

カモ太君 「夢みたいな仕事だねー でも僕ロベタだから無理だよー」

かぶり君 「簡単、簡単！ この商品を見せるだけで、素晴らしさが伝わるもん！ 今日だってこんなに人いっぱいでしょ？ 実際、自分ち（家）でできるし 就職してもサイドビジネスで続けられるじゃん」

カモ太君 「確かに簡単カモ！ 僕もやってみよっかな・・・」

<そこへ、責任者らしい人がやってきました。>

取締役 「お～、君が カモ太君かね。私は、この“かぶり商事”の取締役をやっている者だがね、君のことは、かぶり君からよく聞いてますよー。いやー、環境を守るためにも、君のような若い力に期待してますよー。カモ太君！ ぜひ、わが社のために 頑張ってくれたまえー。よろしく頼むよお。」

カモ太君 「ハ、ハイ！！ 頑張ります！！」

<カモ太君は、会社の偉い人が声をかけてくれたことが、嬉しくてたまりませんでしたし、環境にも配慮したカッコイイ仕事は、やりがいがあると思いました。こうしてカモ太君は、会員登録をしました。会員になるには、スターターキット 50 万円を購入しなければなりませんでした。現金がなくてもカード払いできるとのことでしたし、かぶり君が言うには、3か月もすれば元が取れてしまうとのことでした。>

— 3ヵ月後 —

カモ太君 「あれから3ヶ月経つけど 誰も僕の話なんて聞いてくれない。それどころか 友達に怪しいとか言われるし・・・ 僕の説明がダメなのかなあ・・・ そーだ！かぶり君に相談してみよう」

かぶり君に電話をかけるカモ太君

かぶり君 「慣れないうちは仕方ないよー 焦らない 焦らない そのうちみんなわかってくれるサ」

カモ太君 「そうだね もうちょっと頑張ってみるよ」

— さらに3ヵ月後 —

カモ太君 「誰も新規会員になってくれないし 最近は友達にも嫌がられるようになってしまった・・・ 辞めたいって かぶり君に言おう」

かぶり君に電話をかけるカモ太君

電 話 「ただいま電波の届かないところか 電源が入っていないため、お

つなぎ出来ません」

カモ太君 「かかんないや 仕方ないな 話し上手なかぶり君と違って僕にはこの仕事向いてないみたいだし ローン返すのもキツイし 本部に電話して退会しよう」

本部に電話をかけるカモ太君

電 話 「この電話は、現在使われておりません」

カモ太君 「えー！！ ウソだろ 僕だまされたのカモー??？」

<こうしてカモ太君は、高い商品を買ひ、しつこく友達を勧誘したことで、お金も友達もなくしてしまいました。>

さて カモ太君は なぜ こんな目にあってしまったのでしょうか？  
振り返って考えてみましょう。

教訓1 元同級生だからといって 安易に信用しないこと  
ずっと交流がなかったのに いきなりの電話で仕事を紹介するのは不自然ですね。

教訓2 会場の雰囲気呑まれないこと  
小さい会社のはずなのに豪華すぎる会場は不自然ですね。  
たくさんいる人の中には サクラもいるかも知れませんよ。

教訓3 会員登録や商品を購入するときには、契約内容をよく読むこと  
会員とはどういう位置づけなのか、退会する場合はどのような手続きをするのか、免責事項は？ クーリングオフは明記されているか？  
等々

教訓4 うまい話には裏があるということ  
「楽で儲かる」ことなど絶対にありません！  
甘い気持ちで、あなたを“カモ”に変え、詐欺行為を企む人の収入源になってしまうのです。